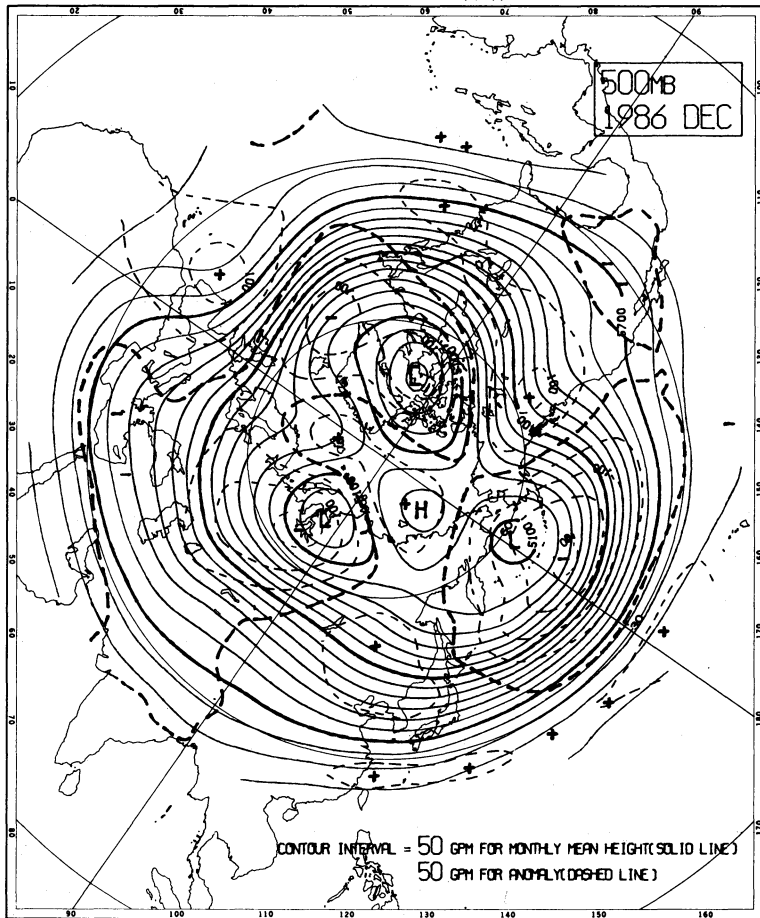


## 月平均 500mb 天気図. 1986 年 12 月

(破線は平年からの偏差. 単位m)



## 極東は暖かい12月に

平年の12月の循環場の特徴は、極東付近と北米東岸でトラフが発達して、波数2の循環が卓越することである。ところが、今年の場合は、タイミル半島からウルルにかけて強い低圧となり、半球的に見るとはつきりとした波数3の循環場となった。

また、今年のもう一つの特徴は、この3つのトラフが全体的に平年より東へ偏ったことである。負偏差で見てもよく特徴が出ている。このようなトラフが東へシフトしたパターンは、最近では、エルニーニョの最盛期だった1983年1月に似ている。この循環場が東へ

偏るパターンは低緯度でも同じ傾向になっており、大平洋の水溫分布も東側の方が高温の偏差になっている。

トラフが発達したウルルや東ヨーロッパ、中近東では寒い12月となり、さらに南のエジプトでは、雪が降ったというニュースも伝えられた。

極東では、シベリアの高気圧が弱く、トラフも大平洋側によって発達した。このため、典型的な冬型の気圧配置とはならず、北海道を除く日本と中国では、暖かな冬となった。

(気象庁長期予報課 林 久美)